

「あふれる笑顔」

幸せのまち大東づくり」

～日常の安全・安心を守る1年～

【コロナ対策にかける思い】

新型コロナウイルス感染症の脅威が続いており、世界中の多くの方々が苦しめられています。お亡くなりになられた方々のご冥福と、闘病中の皆様の1日も早いご回復を、心よりお祈り申し上げます。

また、感染リスクを伴う環境のもとで、私たちの日常生活を支えてくださっている全ての方々と、感染予防対策にご協力いただいております皆様へ改めて深く感謝申し上げます。

昨年12月に予防接種法が改正され、全国民にワクチン接種を行うこととなりました。本市ではプロジェクトチームをつくり、総力をあげて取り組んでいるところです。希望される全ての方々への接種が早期に完了するよう、確実に取り組みを進め、**市民の皆様への命と健康を守ってまいります。**

未曾有の状況に直面し、苦しみ、戸惑う日々が続いています。が、苦しい時こそ、お互いを思いやり、一丸となって支え合い、皆でこの難局を乗り越えられるよう、今後も迅速かつ柔軟に対応してまいります。

【理念を形に】

時代の転換点ともいえる今、市長に就任して以来、掲げ、邁進してきた

「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」

を理念とした、**新たな総合計画・総合**

戦略をとりまとめ、幸せデザイン

大東（詳しくは5ページ）を策定しました。

お一人おひとりの「幸せ」が家族や友人や地域の人たちに

家族や友人や地域の人たちの「幸せ」が大東のまちに

大東のまちの「幸せ」がお一人おひとりの「幸せ」に

この幸せの連鎖とその広がりがこそが、幸せデザイン 大東です。

市民の皆様お一人おひとりの幸せを追求していくことに焦点を当て、その幸せがまち全体の幸せへと広がっていく、そのようなまちを創り続けていきます。

まずは、コロナ禍の今をしつかり見据え、市民の皆様の幸せの実現に向け、幸せデザイン 大東を推進し、一步一步着実に力強く歩んでいく1年としてまいります。



～“幸せデザイン 大東”の実現に向けて～

今年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策

基本的な考え方

国や府が実施する感染症対策に加え、その隙間を埋めるようなきめ細かな取り組みを、3つのステップで市独自に実施し続けています。

ステップ1 日常に近づける

ステップ2 日常を取り戻す

ステップ3 日常を発展させる

取り組みのターゲット

基本的な考え方に基づき、次の視点で取り組みを進めています。

- 1 雇用(失業)を守る
- 2 倒産から企業を守る
- 3 医療機関や医療従事者を守る
- 4 福祉施設や福祉従事者を守る
- 5 高齢者を守る
- 6 障害者を守る
- 7 小・中学生を中心とした若年齢者層を守る

今後の取り組み

- 1、新型コロナウイルスワクチン接種経費 6億3,159万円
- 2、高齢者・障害者生活支援事業 2億1,377万円
- 3、大東市保育関連事業従事者応援給付金給付費 6,750万円
- 4、施設型給付・地域型保育給付費 3,750万円
0～2歳児の保育料を無償にします(令和3年4～6月)。
- 5、大東市雇用維持助成金給付費 1,486万円
市内中小企業者で、国の雇用調整助成金を支給申請した人に対し助成金を給付します。
- 6、市内企業DX^(※)推進事業 333万円

ICT相談窓口の設置やセミナーの開催により、市内企業のDXを推進し、生産性向上をめざします。

※DX(デジタルトランスフォーメーション) …データとデジタル技術の活用により、製品・サービスや業務・組織などを変革し、競争上の優位性を確立すること

1 危機管理の徹底

自然災害や新型コロナウイルス感染症など、あらゆる有事を念頭に置いた対策が必要です。大東での暮らしをどこよりも安心できるものにしていきます。

避難時の安全安心

・土砂災害特別警戒区域の各家庭を最優先に、戸別受信機を無償で貸与し、防災行政無線の避難情報などを確実に伝えます。

避難生活の長期化への備え

- ・避難所である学校の備蓄倉庫を活用しやすくし、災害備蓄品を計画的に備えます。
- ・中学校の体育館に空調機を設置します。

庁舎基本構想の策定

- ・大規模災害への対策とICTによる利便性の向上を方針とする庁舎づくりを進めます。

2 エリアの価値を高める 都市整備と都市空間の創出

身近な場所を魅力的な都市空間として磨き、発信力を強化することで、市内や近隣地域の人に加え、遠方の人々にも大東でしかできない体験や、大東にしかない空間を楽しんでいただけるよう、挑み続けます。

飯盛城跡の国史跡指定

- ・飯盛城跡の国史跡指定に向けて取り組んでいます。安土城に先立つ本格的な石垣づくりの城であった飯盛城の歴史ロマンを感じていただけるよう、飯盛城跡の保全・活用を図ります。



野崎・四条畷駅周辺整備

- ・野崎駅の橋上駅舎整備を引き続き進めます。
- ・四条畷駅東側の駅前広場の整備に着手します。

良好な住環境整備の推進

- ・市営深野園住宅の建て替えについて、お住まいの人々や地域の皆さんの意見を聞きながら、検討を進めていきます。

北条地域の活性化

- ・3月に飯盛山や権現川の自然を感じながら暮らし、楽しめるエリア“morineki”のまちびらきを行いました。
- ・北条幼稚園と北条保育所を統合した認定こども園の令和4年度の開設をめざします。



morinekiにある雑貨店



morineki商業エリア

3 健康寿命の延伸

人生100年時代といわれる今、誰もが生きがいや楽しみを見つけられるよう、それぞれの状況に応じて活躍できる場を創出し、誰もが社会に参画できる機会を充実させます。

安心して介護を受けられる体制づくり

- ・介護に従事する人を増やすことと、地域包括支援センターの相談・支援体制を強化させることにより、介護が必要な人やご家族の不安の軽減を図ります。

4 確かな学力の向上と教育環境の充実

学力の向上を第一に掲げるとともに、大東市ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって学びの個別最適化を図り、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起します。

GIGAスクール構想

- ICTを活用して子どもたちの教育環境を充実させるGIGAスクール構想の実現に向けて、授業などで端末を効果的に使います。

魅力ある学校づくり

- 学校が地域住民などと協力して子どもたちを育む学校づくりを行う、コミュニティ・スクールを導入します。

家庭教育支援の強化

- 家庭・学校・地域に加え、新たに企業と連携し、まち全体で「徹底的家庭応援」の体制を整え、子どもたちを守り、育みます。

5 出産や子育ての安心と魅力の創出

子育て世代の流入・定住促進の取り組みに加え、出産の希望の実現について、個々の価値観に寄り添い支援します。

ネウボランドだいたうの拡充

- 妊娠から18歳までの切れ目のない支援を行う拠点である「ネウボランドだいたう」の相談や支援体制を充実させます。



子育て世代の転入を強かに支援

- 三世代家族推進事業の要件を見直し、市外からの子ども世帯の転入を促進します。
- 市外に暮らす子育て世代が市内の空家を購入・リフォームする際に支援します。

6 チャレンジする人と産業の後押し



本市の強みの一つであるものづくり産業を活性化させながら、新たな産業や新分野へのチャレンジを後押しします。社会情勢や時代の変化にも柔軟に対応し、地域経済を力強く支えるまちを築いていきます。

地域ぐるみの市内企業人材育成

- 市内産業の基盤強化のため、市・大学・商工会議所・企業など、地域ぐるみで市内企業人材を育成する仕組みを構築します。

行政サービス改革

- 行政運営の総合的なデジタル化を進め、市民サービスの向上につなげます。
- 市民会館のWi-Fi環境を整備し、利用者の利便性を高めます。